

次世代宿泊施設 ならびに 次世代宿泊サービス



LOUVE Co., Ltd.

1. 概要
2. 技術説明
3. 享受可能なオンラインサービス例
4. 考察

1. 概要

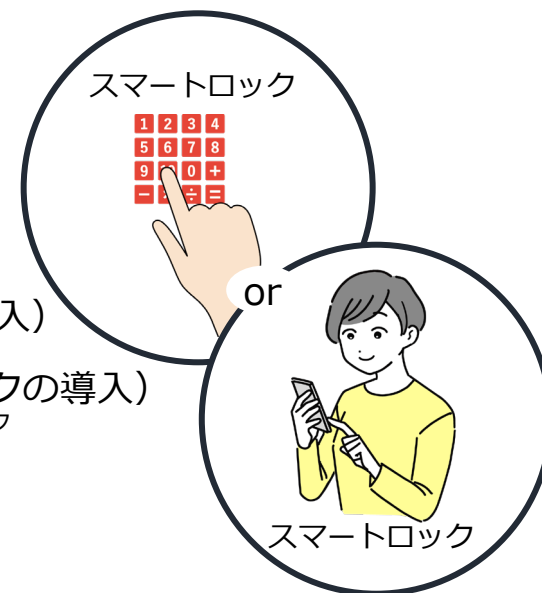
■ 目的

- 宿泊客の利便性および快適性の向上、ならびに他の宿泊施設との差別化

■ 2024年における宿泊業界の現状（運営形態）

- 有人対応型（レセプションでの有人対応によるチェックイン/アウト、ルームサービスの有人対応）
- 省人対応型（備付け端末によるセルフチェックイン/アウト、有償ロッカーによる手荷物のセルフ預入）
- 無人対応型（備付け端末によるセルフチェックイン/アウト）※鍵のD X（右図参照：スマートロックの導入）

別称：リモートロック



■ 宿泊業界の課題

- サービスの質を落とすことなく、人手不足の解消

■ 宿泊業界の目標

- 施設（ハード）とサービス（ソフト）の何れか、もしくは両方による他の宿泊施設と一線を画す差別化の達成
- 宿泊客の満足度向上に繋がる新規サービスの導入

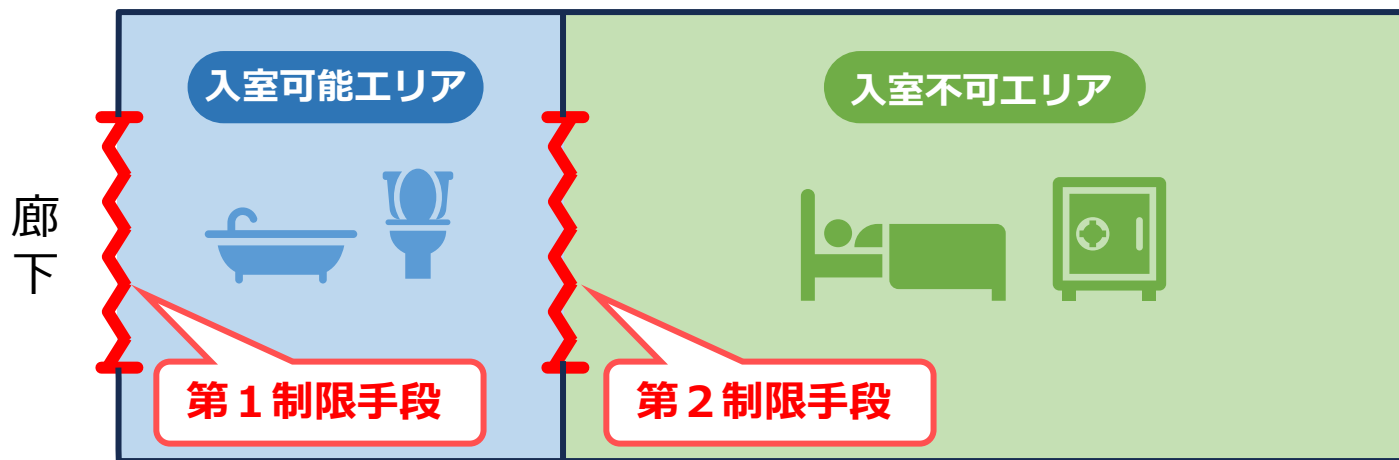
■ コンセプト

宿泊客の在室/不在の如何を問わず非接触によるサービスの享受、ならびにスマホ（PC）でサービス依頼および完結

2. 技術説明

■ 解題解決ならびに目標達成のために、建物に導入するDX技術

※DX技術は、シンプルかつ安価であり、以下の2点で構成される



屋内構造のDX技術

特許登録済み

屋内に、入室する権利を付与された第3者が立入れる入室可能エリアと、第3者の立入りが制限される入室不可エリアとを形成するとともに、上記入室可能エリア内には、プライバシー/貴重品と関係性の低い洗面/浴室/トイレの水回りの少なくとも何れかを配置。

制限手段のDX技術

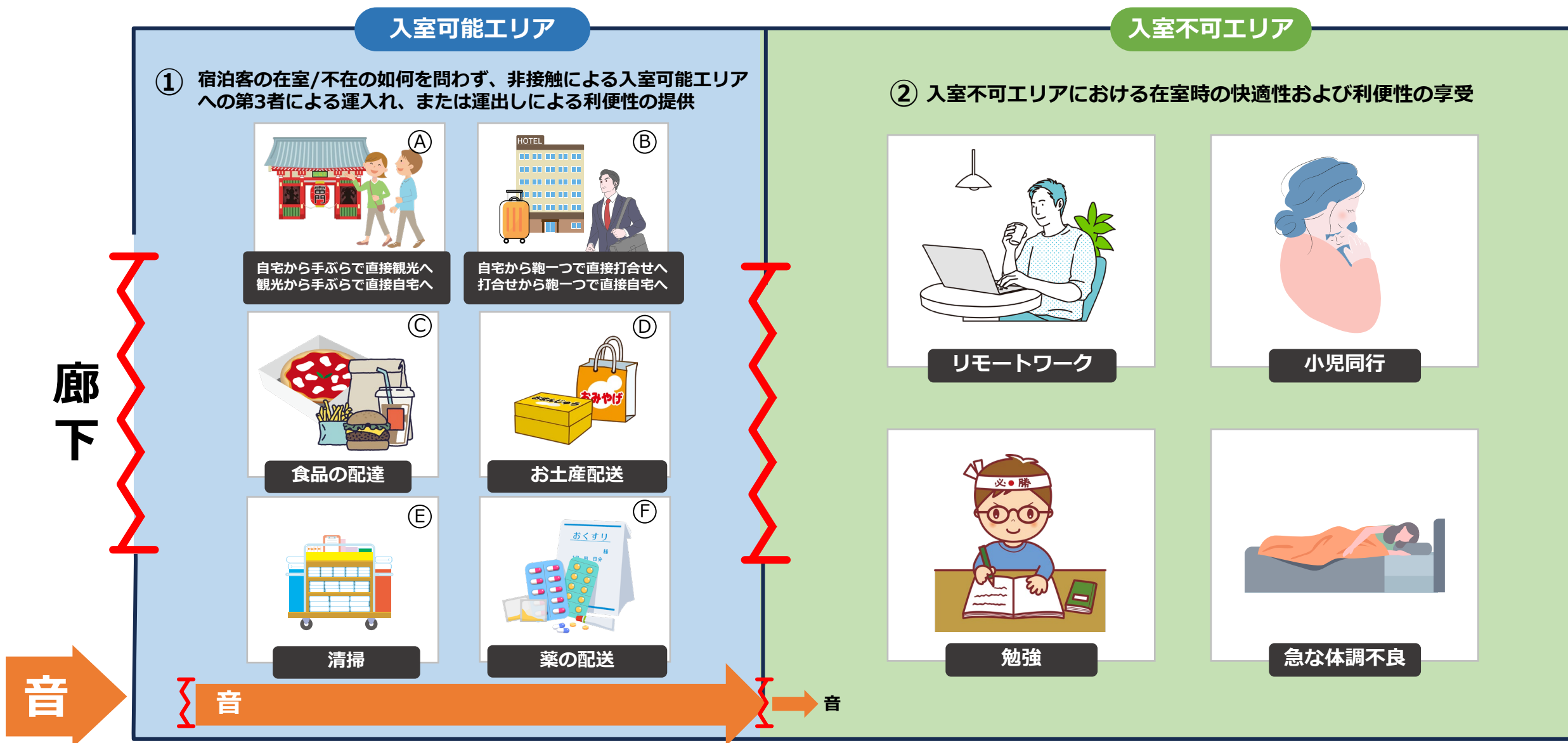
特許登録済み

- ルームドアに導入する第1制限手段（スマートロック）
※望ましくは、ワンタイムパスワード搭載機種（設置された端末操作で、スマホすら不要）。
- 第2制限手段（中間扉＋鍵、または中間扉＋カメラ、或は中間扉＋鍵＋カメラ）

※カメラのみとすることも可。

※ワンタイムパスワードは、任意で有効な時間（例えば、2時間）を設定可能である。
したがって、本システムでは、再配達は理論上発生しない（社会課題解決）。

3. 享受可能なオンラインサービス例



4. 考察

■ 宿泊客目線

前項3のサービス④～⑩の利用については、宿泊客が、時間と場所を問わずに自身のスマホ（オンライン）で依頼し、在室/不在の如何を問わず非接触でサービスを楽しむので、宿泊客はこの上ない利便性と快適性を享受することができる。

■ 宿泊業者様目線

前項3のサービス④～⑩は、何れもオンラインによる外部委託のため、スタッフの新たなオペレーション導入を不要としながら、宿泊客の満足度向上、ならびに他の宿泊施設との差別化の両方を達成することができると考えます。

※屋内にDX技術（ハードウェア）を導入する建物にあっては、利用するオンラインサービス（ソフトウェア）によっては、特許権の侵害に該当する場合がありますので、ご注意ください。

■ 需要予測/市場規模

省人化および無人化された宿泊形態は、日本および外国問わず既に市場に根付いており、またスマホで食品配達を依頼するオンラインサービス⑥についても日本および外国問わず既に市場に根付いているので、日本人ならびに外国人問わず需要は確実にあると考えます。

⑩のお土産配送サービスについては、電車移動等の隙間時間を利用してオンラインで依頼できるので、観光やビジネスに集中できる無駄のない有意義な環境を提供することができる。

④⑧のサービスについては、宅配（キャリーケース等）における時間指定サービスで対応することができるので、日本では既に市場に根付いている一方、外国人にとってはアメージングなサービスとして好意的に受け入れられるものと思慮します。

また、上記サービス④～⑩は、言うなれば外部スタッフによるフルサービスに相当するものであり、これらサービス④～⑩を宿泊客の在室/不在の如何を問わず好適に享受可能とする宿泊形態は日本および外国問わず存在しないので、既存の省人化/無人化で開拓済の市場は言うに及ばず、目新しいものの好きの宿泊客、ならびに本システム独自の宿泊形態に意義を見出す日本人および外国人の市場を新たに開拓することができると思慮します。

市場規模

省人化/無人化された宿泊施設が既に全国で展開されているので、これに準ずると考える一方、サービス面については、飲食店/コンビニの充実する都市部の満足度が高くなると考えます。